

グローバル・ヴィレッジ(GV) 2020 年活動報告

これにより当年収益 27 万円を計上し、32 万円弱を次年度に繰り越しました。

【概要】

2020 年は、コロナ禍でのロックダウンにより生産活動が止まり、仕事が減って苦境に陥ったピープルツリーの生産者パートナーに支援金を送るためのクラウドファンディングを 5 月に実施しました。当初目標を大きく上回る 308 万円のご支援をいただき、21 団体に合計約 264 万円を送ることができました。ご協力いただいた皆さまにあらためて感謝申し上げます。

例年行っていた世界フェアトレード・デーを中心としたイベントや「フェアトレードの学校」はオンラインに移行するなど、コロナ禍の中での情報発信、交流を模索しながらフェアトレードの普及・啓発活動を継続しました。

【収入・支出状況】

(会計年度1月1日～12月31日)	2019	2020
収入の部	2,123,679	5,063,397
会費収入	1,080,000	1,030,000
寄付金収入	622,115	3,514,183
啓発活動収入	421,564	519,214
支出の部	2,148,793	4,795,746
情報発信	282,268	301,250
啓発活動費	538,434	363,704
プロジェクト支援	544,835	3,509,640
活動費小計	1,365,537	4,174,594
人件費	288,533	228,000
家賃・水道光熱費	300,000	228,000
手数料	62,390	58,693
その他事務所諸経費	132,334	106,459
事務所経費小計	783,257	621,152
当期収支	-25,114	267,651
前期繰越	73,607	48,493
次期繰越	48,493	316,144

※2020 年度より、プロジェクト支援の送金にかかる金融機関の手数料を「手数料」でなく「プロジェクト支援」に計上するよう変更し、2019 年度の数値を合わせて修正しました

収入の部は 506 万円と前年の 2 倍以上となりました。クラウドファンディング等による寄付収入 351 万円が大きく影響しました。会費収入は 103 万円とほぼ横這い、啓発活動収入はオンライン「フェアトレードの学校」の参加費などで 52 万円と前年に比べ 23%増加しました。

支出の部は 479 万円で、うちプロジェクト支援費が、生産者への支援金、クラウドファンディング実施費用、送金費用などで 351 万円と大半を占めました。情報発信費は 30 万円の前年より微増、啓発活動費は 36 万円、イベントやセミナーにかかる人件費や交通費の減少で前年より 32%減少しました。事務所経費は 62 万円で、スタッフのテレワークによる交通費節減などで前年より 21%減少しました。

【活動報告】

1. 生産者支援活動

1) 緊急支援金の提供

前述の支援金 264 万円は、ピープルツリーの衣料品や雑貨のパートナー団体 5 カ国 20 団体と、バングラデシュの NGWF (バングラデシュ衣料産業労働者連盟) に送り、困窮している生産者やコミュニティ内の貧しい人びとに食糧や衛生用品を届ける活動に役立ててもらいました。



インド「タラ・プロジェクト」で食料などを受け取る家族

また、これに先立つ 2020 年 1 月、フィリピンのバタンガスで火山が噴火し数万人が被災しました。幸いパートナー生産者 2 団体のスタッフや生産者はみな無事でしたが、周辺の被災者の支援活動を行ったパートナー団体「サフィー」に、支援金を送りました。

《送金額》 10 万 9,200 円



サフィーから届いた御礼のメッセージビデオ

2) ピープルツリー商品の売上に応じた寄付

ピープルツリーと連携し、商品の売上に応じた金額の寄付を送ることで、生産者パートナーが運営する現地の教育プロジェクトなどを支援しています。

※これらの寄付はピープルツリーの売上からの拠出となるため GV の支出には含まれません。

●クムベシュワール・テクニカル・スクール(KTS) (ネパール)

ピープルツリーにニット製品を届けてくれる KTS が運営する孤児院を支援するため、KTS のファッションアイテム 1 点につき 100 円を寄付。

《送金額》 36 万 2,200 円 (セーター等 3,622 点分)

●タラ・プロジェクト(インド)

タラ・プロジェクトのアクセサリーの売上 100 点ごとに 30USドルを寄付。例年は児童労働に従事する子どもたちのための教育センターの運営費に充てられています。コロナ禍でセンターの活動が休止したため、使途を食糧や衛生用品を届ける支援活動に変更しました。

《送金額》 9 万 8 千円 (アクセサリー 3,187 点分)

また、ジュエリー／ファッションブランド「RUKUS by yasuihiro tomita」からご寄付いただいた 10 万円も合わせて送金しました。

●タナパラ・スワローズ(バングラデシュ)

ウエディング・ドレス 1 着につき 10,000 円を寄付し、スワローズで働く女性たちのための保育所運営を支援。

《送金額》 4 万円(ドレス 4 着分)

2. 啓発活動

1) オンライン「フェアトレードの学校」

2018 年から毎月 1 回自由が丘店で開催してきた、フェアトレードや社会的な活動について楽しく学べる「フェアトレードの学校」を、5 月から密を避けるためにオンラインで開催しました。

フェアトレード月間の 5 月、ピープルツリーアンバサダーの鎌田安里紗さんと末吉里花さんをファシリテーターに迎えて行った 2 回のオンライン講座はそれぞれ 100 名前後の参加があり、自宅にいながら参加者同士の交流もできたと好評を得ました。

2 回目の講座にはインドから生産者パートナー 2 団体の代表がスピーカーとして参加し、コロナ禍の現地から生の声を伝えました。

このほか「フェアトレード入門」「フェアトレードタウン」「オーガニックセブテンバー」などをテーマに、計 10 回のオンライン講座を実施しました。



オンラインでインドから現地の様子を伝えてくれたルーパ・メタさん(サシャ代表、世界フェアトレード連盟会長)(左)とムーン・シャルマさん(タラ・プロジェクト代表)(右)

2) 講師派遣

- ・中学校 1 件
- ・小学校 1 件
- ・企業 1 件
- ・市民団体 1 件

企業や学校への出張講演は中止や延期もあり実施件数は 4 件と少なかったものの、問い合わせの件数は増えています。学校での SDGs 教育や企業での SDGs 対応などでフェアトレードを取り上げる需要は今後も高まると考えられ、オンラインでの実施プログラムも提案していきます。

3) フェアトレード普及活動の支援

フェアトレードタウン運動などを推進する一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム(FTFJ)の事務局業務の受託は 2020 年 4 月で終了しましたが、GV 代表の胤森が引き続き理事として活動に参加しています。FTFJ でもオンラインを活用したイベントを積極的に行いました。5 月の世界フェアトレード・デーに実施した、全国のフェアトレード推進グループのメンバーが集うオンライン交流会を皮切りに、フェアトレード食材を使ったご当地スイーツの紹介や、全国 6 都市のフェアトレードタウンのバーチャルツアーなどを実施しました。



6つのフェアトレードタウンをバーチャルで訪問し、フェアトレードタウン認定のポイントを解説したオンライン交流会(11月)

また、GV/ピープルツリーの活動拠点である東京都世田谷区をフェアトレードタウンにすることを目指す「フェアトレードタウン世田谷推進委員会」のメンバーとしても活動しています。5 月に区との共催を予定していた啓発イベントは中止となりましたが、フェアトレード食材を使った特別メニューを用意した区内のカフェや飲食店を巡るスタンプラリーなど、工夫をこらしてフェアトレードを盛り上げました。



【2021 年活動計画】

1991 年に小さなグループでの活動から始まった GV は、今年 30 周年を迎えます。3 月の「国際女性デー」から、バングラデシュで女性のエンパワメントを目的とした研修プログラムを支援するためのクラウドファンディングを始めます。コロナ禍の収束が見通せない中、イベントや交流会、講演はオンラインでの実施を前提に内容や方法を工夫し、身近なアクションを提案する機会を広げていきます。